

1 スポーツ・レクリエーション

【目指す姿】

子どもから高齢者まで、日常的にスポーツ・レクリエーションに親しみ、心身ともにいきいきと、
こころ豊かで、健康的な生活を送っています。

1 施策の基本方針

- 1 地域に根ざした生涯スポーツ推進のため、スポーツ・レクリエーション活動の普及・促進に努めます。
- 2 各種競技団体、地区団体との連携を図るとともに、指導者の養成・活用を行い、競技力の向上に努めます。
- 3 スポーツ施設の整備、充実と効率的活用の促進に努めます。

2 施策の体系

1 生涯スポーツの推進

(1) スポーツのまちづくりの推進

【主要事業】 地区における体育活動への支援事業

- 地域スポーツ振興の実施母体である各地区体育協会の運営費及びスポーツの普及・振興に係る事業費の一部を支援することによって、生涯スポーツ活動の活性化を目指します。

(参考) 各地区体育協会の主な事業

- ・地区運動会、ソフトボール大会、卓球大会、バレーボール大会

(2) 小・中学生のスポーツ活動の充実

【主要事業】 スポーツ少年団育成事業

- スポーツの楽しさや喜びが体験できる団活動の場を通して、積極的にスポーツに親しみ、心身ともにいきいきと、こころ豊かで健康的な生活を送ることができるようになるとともに、児童生徒の体力向上を図るため、スポーツ少年団の一層の育成を目指します。

(3) スポーツ・レクリエーション活動の普及・促進

【主要事業】 市民体育祭

- 昭和31年に第1回大会を開催して以来継続して実施しています。子どもから高齢者まで市民が気軽に参加できる大会として現在では約1万人が参加する本市スポーツの最大のイベントとなっています。

また、近年は市民のニーズに応えた新種目を導入して実施しています。

今後もこの大会を通して、市民のスポーツ精神の高揚、健康増進、体力の向上、相互交流に努めて生涯スポーツの一層の振興を目指します。

<指 標>

指 標 名	現状値 (H26)	目標値 (H32)	説 明
市民体育祭参加者数	12,205人	13,000人	市民体育祭の参加者数により、生涯スポーツと競技スポーツの振興の状況をはかる指標です。 ニーズに対応した種目を導入することにより、年間1.5%の増加を目指します。

【主要事業】 ふくしま健康マラソン大会

- 多くの市民ランナーがそれぞれの体力に応じて気軽に参加できる大会として定着してきています。

今後も市民ニーズに応じて新種目も導入するなど、参加条件や運営方法などに工夫を加えて、市スポーツ人口の一層の拡大と、市民の体力向上を目指します。



ふくしま健康マラソン大会

【主要事業】 家庭バレーボール大会

- 家庭婦人が手軽に楽しめるスポーツを目指して市教育委員会が市体育指導委員会（現スポーツ推進委員会）の協力を得て、独自のルールによる家庭バレーボールを考案しました。

昭和39年に第1回大会を開催して以来、毎年実施していますが、現在では関係者の努力もあって家庭婦人スポーツの一大イベントとして盛り上がりを見せています。

今後もこれら愛好者の輪が一層広がるよう普及発展に努めて、女性層の生涯スポーツの振興を目指します。



家庭バレーボール大会

(4) 総合型地域スポーツクラブの育成

【主要事業】 総合型地域スポーツクラブ育成支援事業

- 市内には現在、4つのクラブが設立されており、様々な競技種目に取り組んでいます。レベルや興味に応じてプログラムを構成し、学校を含む体育施設等を活用しながら、すべての世代の人々がスポーツに親しめる環境づくりを目指して活動しています。

今後も体育施設の使用料の助成を行うなどしてクラブの活動の支援を続けていきます。

クラブ名	・NPO法人エフ・スポーツ	・NPO法人あづまスポーツクラブ
	・UFOの里ふれあいスポーツクラブ	・NPO法人福島スポーツネット

2 競技力の向上

(1) 指導者の育成

【主要事業】指導者講習会事業

- 市体育協会に加盟している競技団体の活動を積極的に支援し緊密な連携を図りながら、指導者講習会の開催、講習会への派遣事業等を行っています。

今後も各種競技・各年代ごとに合わせた競技技術やトレーニング方法の指導、スポーツ医学を活用した指導など、専門的な知識と指導力を持つ指導者を育成し、資質の向上を図りながら優れた指導者の確保と活用に努め、競技スポーツの振興と競技力の向上を目指します。

(2) 各種大会の開催

【主要事業】市民体育祭（前掲）

ふくしま健康マラソン大会（前掲）

家庭バレーボール大会（前掲）



市民体育祭 ソフトボール競技



市民体育祭 卓球競技

【主要事業】中学校体育大会への補助

- 中学校スポーツ活動の促進とスポーツの振興を図るため、本市で開催される中学校体育大会の運営に関する経費の一部を支援しています。

今後も、中学校体育連盟の安定的な運営と中学校スポーツ活動の促進を図るため、支援を継続し、競技力の向上を図っていきます。

【主要事業】全国大会出場者への激励金交付

- スポーツ選手の育成・強化を目的に、県外で開催される全国大会や国外大会に出場する選手に対して、激励金を交付しています。

今後も制度の周知を図り、より多くの選手が全国大会に出場する際の支援を継続していき、スポーツ選手の育成・強化を図っていきます。

3 スポーツ施設の整備充実と効率的活用の促進

(1) スポーツ・レクリエーション施設の整備と効率的な管理運営

【主要事業】 体育施設整備事業

- 市民のスポーツ活動の場である既設の体育施設の多くは老朽化が進んでいます。

老朽化が進み、機能更新が必要な施設については、現在の機能を維持しつつ、施設の性格、役割、利用状況、安全性等を総合的に判断して改修や整備を進め、利用者にとって引き続き安全で使いやすい施設となるよう努めます。

また、新たな体育施設については、多様化する市民ニーズを的確に把握しながら整備を進めます。

【主要事業】 体育施設オンライン運用事業

- 体育施設をオンラインシステムで結び、スポーツ施設を効率的に運用し、市民の体育施設使用予約の際の負担を軽減します。



日本パークゴルフ協会公認 福島市パークゴルフ場

(2) 学校体育施設の有効活用

【主要事業】 学校体育施設開放事業

- 学校体育施設を学校教育に支障のない範囲で開放し、地域住民等がいつでも気軽に、そして安全にスポーツ活動に親しむことの出来る環境を提供し、生涯スポーツの一層の振興を目指します。

<指 標>

指 標 名	現状値 (H26)	目標値 (H32)	説 明
体育施設利用者数 (学校体育施設を含む。)	2, 325, 607人	2, 900, 000人	体育施設の利用者数により、生涯スポーツと競技スポーツの振興の状況をはかる指標です。 市民一人が、年間10回(月1回程度)利用することにより、2, 900, 000人の利用を目指します。